

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月 ~3日	3月 ~10日	3月 ~17日	3月 ~24日	3月 ~31日	4月 ~7日	4月 ~14日	4月 ~21日	4月 ~28日	5月 ~5日	5月 ~12日	5月 ~19日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	22	17	14	23	22	17	21	18	9	8	0 (26)	0
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	14	10	14	16	23	19	13	20	17	7	17	12
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	0	4	4	2	1	0	1	1	4	0	1	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	3	3	4	0	2	3	5	3	2	0	4	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	6	1	4	4	7	3	6	3	2	1	4 (5)	1
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	0	0	1	0	0	4	4	1	0	2	1
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	0	3	3	3	2	2	3	2	4	0	1	1

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

広島県感染症発生動向週報

令和元年第20週(5月13日~5月19日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2	1	1		1	2	
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2		1					1
四類	2	A型肝炎	1				1			
		デング熱	1					1		
五類全数	12	アメーバ赤痢	3	1				2		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				1	1		
		急性脳炎	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	1	1						
		百日咳	2				1	1		
		風しん	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

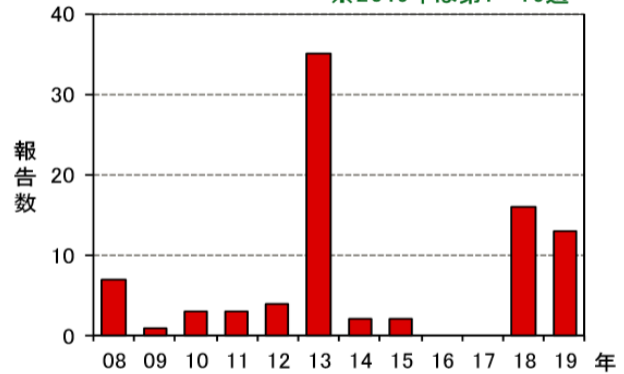
広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第20週 5/13～5/19)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

風しんの年間報告数の推移

※2019年は第1～19週



【参考】「成人男性の風しん抗体検査・予防接種(対象者の皆様へ)」(健康推進課)

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1552439189257/index.html>

1. 風しん

2件の報告があり、今年の累計は13件となりました。

広島市では、抗体保有率の低い世代の男性に対し、無料で風しん抗体検査及び予防接種(十分な量の抗体がない方のみ)を実施しています。対象者に該当する場合は、抗体検査、予防接種を積極的に受けましょう。

2. デング熱

1件の報告がありました。デング熱は蚊が媒介する感染症で、熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア・南アジア・中南米で患者の報告が多くなっています。流行地域を訪れる際には、長袖・長ズボンを着用する、昆虫忌避剤(虫除けスプレー)を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	7	0.19	0.30		↓	小児科	流行性耳下腺炎	8	0.35	0.76		
小児科	咽頭結膜熱	16	0.70	0.57		↑	眼科	RSウイルス感染症	5	0.22	0.10		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	58	2.52	2.96		↔		急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	135	5.87	8.20		↔	流行性角結膜炎	1	0.13	0.82			
	水痘	4	0.17	0.41			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	11	0.48	1.24				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	9	0.39	0.32				マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.17		
	突発性発しん	7	0.30	0.43				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	0.03		
	ヘルパンギーナ	5	0.22	0.43			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.66			

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減)

微増減 ↕ (前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減)

横ばい ↔ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	65	男性(80歳代)
4	デング熱	1	2	男性(20歳代)・推定感染地域: 国外
5	アメーバ赤痢	2	3	男性(50歳代)、男性(60歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	女性(90歳代)
5	急性脳炎	1	12	男性(10歳未満)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	18	女性(70歳代)
5	百日咳	1	25	男性(10歳代)
5	風しん	2	13	男性(20歳代)、男性(50歳代)

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.6) 鼻炎	8 男	2019/04/09	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(38.8) 関節痛 筋肉痛 咽頭炎 頭痛 鼻炎	57 不詳	2019/04/13	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	2 男	2019/04/10	糞便	ノロウイルスG II
感染性胃腸炎	発熱(38.2) 下痢	5 男	2019/04/14	糞便	A群ロタウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱 上気道炎	2 男	2019/04/08	鼻汁	ヒトコカウイルス
その他の消化器疾患	嘔吐 腹痛	2 男	2019/04/01	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱(38.5)	0 男	2019/03/29	血液	ハレコウイルス3型

* 感染症発牛動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載